

◇ 動脈硬化検査（オプション検査）

両手両足に血圧計を装着し、手と足の血圧の比較や脈波の伝わり方を調べることで、動脈硬化の程度を数値として表したものです。この検査を行うことにより血管年齢を知ることが出来ます。高血圧、タバコを吸う方、肥満体系の方におすすめです。

◇ MRCP：腹部MRI検査（オプション検査）

MRCP (Magnetic Resonance Cholangio Pancreatography) とはMRI装置で胆嚢・胆管・膵管を同時に描出する検査のことです。造影剤と呼ばれる薬を使用することなく、描出することが出来るMRI特有の検査です。腹部超音波検査では見ることの難しい膵臓を詳しく見る事ができます。

【主な所見】

膵嚢胞	膵臓にできる、袋状の水疱のようなものです。良性・悪性の膵嚢胞があります。中には手術を必要とすることもありますので、要精密検査となった場合には、必ず受診してください。また、腫瘍性嚢胞に分類される中に、粘液産生性膵腫瘍（IPMN）があり、頻度が最も多いものになっています。
粘液産生性膵腫瘍	膵管（膵液の流出路）に発生する乳頭状の腫瘍によって作られた多量の粘液が膵管内に貯留することによって、膵管が膨らんで嚢胞のように見えるものです。また良性から悪性へと変化していくことが知られています。